

令和4年度 基本評価調書①		所管部局	経済部	所管課	雇用労政課		
施策名	女性、高齢者、障がい者の就業促進			施策コード	0522		
政策体系(中項目)	だれ一人取り残さない、だれもが活躍できる社会づくり			政策体系コード	3(3)A 3(3)B		
関連重点戦略計画等	知事公約、創生総合戦略					事務事業数	2
SDGs				総合判定	概ね順調		
予算額(千円)	R 4	91,835	R 3	102,537	R 2	91,803	

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> 女性の活躍を推進するため、結婚、出産・育児等により離職後、再就職を希望する女性や、ひとり親家庭の母親に対する就職支援を実施する。 高齢者が働きやすい環境づくりを進め、様々な形で地域に貢献し、元気に活躍できる社会づくりに取り組む。 障がいのある方々が、本人の希望や障がい特性などに応じて、いきいきと働くことができるよう、幅広い就労機会の確保に向けた取組を進める。 	
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 本道における女性の就業率は全国平均を下回っている状況にあり、就業の継続を希望しながらも出産・育児等で離職する女性が多いことや、キャリアブランクや子育てとの両立への不安などから就職を希望しながらも活動に至らない女性が一定数存在している。 65歳以上の就業率は上昇傾向にあるものの、全国平均を下回っている状況にある。 障がいのある方の民間企業における実雇用率は、全国平均を上回り、法定雇用率を達成している。 	
前年度二次評価意見	-	対応状況(R4.3時点)

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> マザーズキャリアカフェ(MCC)を設置し、子育て中の女性の再就職を支援 「子育て女性等の就職支援協議会」(北海道労働局主催)において各関係機関と連携 シルバー人材センター連合会が行う事業を支援するとともに、パネル展などによる啓発を行い、センター事業の活用を促進する。 経済団体等への障がい者雇用の要請、雇用促進フェア(就職面接会)の開催、障がい者雇用関係表彰、障害者就業・生活支援センターの指定業務、特別支援学校の見学会など、障がい者の就業を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> マザーズ・キャリアカフェ利用者延べ数 R1:1,856名 R2:886名 R3:1,031名 シルバー人材センター連合会に対する事業支援、取組を紹介するパネル展を開催(令和3年9月26日~27日 1回) 経済団体への障害者雇用の要請 道内5地域で雇用促進フェア(就職面接会)を開催(令和3年10月15日~11月5日) 障がい者雇用関係表彰者数 R1:4名、R2:3名、R3:3名 障害者就業・生活支援センターの運営 特別支援学校の見学会の開催校 R1:9校、R2:16校、R3:16校

連携状況	マザーズキャリアカフェを通じ、女性に対するカウンセリングやセミナーを実施するとともに、「子育て女性等の就職支援連絡会議」において、北海道労働局・道庁関係部に加え、札幌市など情報共有を図っている。また、保健福祉部と連携し、障害者職業・生活センターの運営を行うほか、北海道労働局や道保健福祉部・教育庁と連携し、経済団体等へ障害者雇用に係る求人要請を行っている。
緊急性優先性	本道における女性の就業率は、全国平均を下回っていることから、就業の継続や再就職を希望する女性に対し、マザーズキャリアカフェにおけるきめ細かなカウンセリングの実施等により、取組の効果的な推進を図っている。また、道内の65歳以上の高齢者の就業率は全国平均に比べて低く(R3:北海道21.7%、全国25.1%)なるなど高齢者の労働参加の取組が課題となっていることや、障害者雇用を促進する上で有効な手段であるジョブコーチ制度などの国の制度が有効に活用されていないことから、シルバー人材センターの運営費補助の拡充や活動拠点の設置基準の緩和、障害者の雇用を促進する制度の一層の充実について、国に要望している。

令和4年度 基本評価調書②	施策名	女性、高齢者、障がい者の就業促進	施策コード	0522
----------------------	------------	------------------	--------------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
高齢者（65歳以上）の就業率（暦年）		目標値	24.9	25.1	25.2	全国平均値以上	86.1%	C
		実績値	21.8	22.2	21.7			
設定理由	65歳以上の高齢者のうち、仕事に就いている人の割合であり、高齢者の就業促進の進捗状況を図る指標として設定							
分析（主な取組と成果）								
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、道内における就業率が低下。目標達成が図られるよう引き続き高齢者が働きやすい環境づくりを進める。								

指標名②	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
障がい者の実雇用率（民間企業）（暦年）		目標値	2.2	2.2	2.3	法定雇用率以上	103.0%	A
		実績値	2.27	2.35	2.37			
設定理由	「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき障がい者の雇用義務がある民間企業における障がい者の平均雇用率であり、障がい者の就業促進の進捗状況を図る指標として設定							
分析（主な取組と成果）								
目標値を上回る結果となり、道の施策はもちろん、国など関係機関と連携した取組の成果が現れており、引き続き、障がいのある方の幅広い就労機会の確保に向けた取組を進める。								

指標名③	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
女性（30～34歳）の就業率（暦年）		目標値	—	76.2	77.0	79.2	98.7%	B
		実績値	—	72.8	76.0			
設定理由	30～34歳の女性における、人口に対する就業者数の割合であり、女性の就業促進の進捗状況を図る指標として設定							
分析（主な取組と成果）								
マザーズ・キャリアカフェにおいて、カウンセリング及びセミナー等の支援を実施したが、北海道における女性の就業状況は、厳しい状況にあり、目標未達となった。（R3全国平均値77.2%）								

【総合判定】

連携状況	○	緊急性優先性	○	指標判定	B	総合判定	概ね順調
-------------	---	---------------	---	-------------	---	-------------	------

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	新型コロナウイルスの影響等により、北海道における女性の就業率等に課題があることから、子育て中の女性等に対するカウンセリングやセミナーを実施するなどして就業を促進。
	②	高齢者の就業率は依然として全国平均と比べ低いことから、現在行っている、高年齢者雇用の取組やシルバー人材センター事業を紹介するパネル展による普及啓発のほか、事業主をはじめ、広く道民全体の理解を深めるための広報活動の充実について、検討する。
	③	

令和4年度 基本評価調書③	施策名	女性、高齢者、障がい者の就業促進	施策コード	0522
---------------	-----	------------------	-------	------

〈二次政策評価〉

R4年度 二次政策 評価	<p>【施策目標の達成状況】</p> <p>総合計画に掲げる、意欲と希望のある高齢者や障がいのある方々の活躍促進のため、高齢者が働きやすい環境づくりを進めることが重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。</p>
--------------------	---

二次政策 評価への 対応	地域における高齢者の活躍促進に向け、シルバー人材センター事業を紹介するパネル展開催といった取組を実施するとともに、事業主をはじめ、広く道民全体の理解を深めるための広報活動の充実により、高齢者の雇用に係る一層の機運の醸成を図る。		
R5 施策の 方向性	対応方針番号	方向性	関連する事務事業 (新規・拡充)
	①	女性の就業率の改善に向け、マザーズ・キャリアカフェにおいて、子育て中の女性等に対するカウンセリングやセミナーを実施するなどして就業を支援する。	
	②	障がいのある方の幅広い就労機会の確保に向けた取組を継続するほか、地域における高齢者の就業促進に向けては、従来の取組を継続するとともに、事業主をはじめ、広く道民全体の理解を深めるための広報活動の充実により、高齢者の雇用に係る一層の機運の醸成を図る。	
	③		
R5新規事業数			

令和4年度 補助指標調書①	施策名	女性、高齢者、障がい者の就業促進	施策コード	0522
----------------------	------------	------------------	--------------	------

【成果指標の達成状況】

補助指標名①	増加	人	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
マザーズキャリアカフェでの女性の就職者数	目標値		83	83	83	581	153.0%	A
	実績値		118	88	127			
設定理由	マザーズキャリアカフェに登録し、就職支援サービスを受けて就職が内定した人数の累計（H30～R6）							
分析（主な取組と成果）								
R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て女性等のマザーズキャリアカフェ利用者数が増加した結果、実績が向上し目標が達成されたと考えられる。 （参考）これまでの実績値累計（H30～R3）：505人 進捗率：86.9%								

補助指標名②	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
女性（55～59歳）の就業率（暦年）	目標値		—	71.5	72.4	75.0	100.3%	A
	実績値		—	70.8	72.6			
設定理由	55～59歳の女性における、人口に対する就業者数の割合							
分析（主な取組と成果）								
各地域での潜在人材の掘り起こし支援や多様な人材の安定就業促進等により、実績が向上し目標が達成されたと考えられる。（R3全国平均値73.0%）								

補助指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名④			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

令和4年度 事務事業評価調書

施策名 女性、高齢者、障がい者の就業促進

施策コード 0522

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			ACTION 結果への対応(令和5年度)		
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	次年度方向性	二次評価意見への対応状況
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性			
0819	0519	一般	北海道就業支援センター事業費	若者や女性、中高年齢者の就業支援をワンストップで実施するほか、企業の人材確保や職業定着を支援するとともに、在職者向けカウンセリングを実施	雇用労政課	0	85,136	85,136	2.0	0.7	2.7	106,153	①	改善(取組分析)		改善	
0822		一般	高年齢者労働能力活用事業費補助金	シルバー人材センターの健全育成・設置促進を図るため、道内シルバー人材センターの指導調整機関である(社)北海道シルバー人材センター連合会に対し補助	雇用労政課	0	6,699	6,699	1.0	0.0	1.0	14,483	②	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況】 ※基本評価調書③<二次政策評価>参照	改善	地域における高齢者の活躍促進に向け、シルバー人材センター事業を紹介するパネル展開催といった取組を実施するとともに、事業主をはじめ、広く道民全体の理解を深めるための広報活動の充実により、高齢者の雇用に係る一層の機運の醸成を図る。
計						0	91,835	91,835	3.0	0.7	3.7						

